

伊達市議会だより

Date city Assembly

議会広報委員会
vol. 40 2015.11.12

9月定例会の主なもの ②

一般質問・審議議案 ④

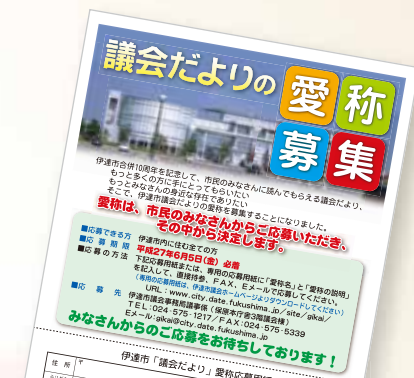
7月臨時会審議議案 ⑨

要望活動 ⑩

みなさんからの請願・陳情 ⑩



大橋副議長、大條委員長から
鈴木義三様(右から2人目)へ記念品を贈呈



市議会だよりの愛称に決定しました『ほっとだて』を応募いただいた、鈴木義三様(霊山町掛田)に、8月11日記念品を贈呈しました。また、『ほっとだて』のロゴデザインを、保原高校美術部の生徒のみなさんに作成していただきました。

新しい愛称とデザインは、合併10年を記念して、平成28年度から採用する予定です。



保原高校美術部の生徒のみなさん(前列6人)とロゴデザイン

9月定例会

平成27年第4回伊達市議会定例会は9月3日に招集され、9月29日までの27日間の会期で開催されました。市長から提案された案件は、報告4件、人事9件、条例の一部改正5件、補正予算19件、決算22件、その他1件の計60件でした。さらに、条例制定1件、補正予算2件、その他1件が追加提案されました。これらの案件は、一部を除き所管の委員会に付託して審査の後、本会議で採決した結果、原案のとおり可決・認定しました。

■ 一般会計補正予算(第2号)

平成27年度一般会計補正予算は、16億5,550万2千円を増額し、予算総額を338億7,734万円としました。

【復興・放射能対策事業】

- ・ こども体力低下対策事業 10億8,335万2千円
(保原屋内プール解体工事、本体建築工事、外構工事)
- ・ 農地等除染対策事業 4,416万2千円
(安全な果樹生産のため果樹改植支援)

【その他の事業】

- ・ 住民情報システム管理事業 3,632万5千円
(マイナンバー制度改正等に対応したシステム改修及び選挙権年齢の18歳引下げに伴う選挙関係システム改修)
- ・ 農業振興支援事業 △5億9,150万円
(J A伊達みらいのあんば柿加工施設整備事業が、県から事業者へ直接補助する事業で実施することとなったための減額)
- ・ 農業振興対策補助事業 1億4,105万円
(あんば柿加工施設整備に対し、国と併せて補助し産地育成及び出荷増産を支援する)
- ・ 伊達氏ゆかりの史跡整備事業 3,000万円
(伊達氏発祥の地である高子館跡周辺に駐車場整備)

追加議案

■ 一般会計補正予算(第3号)

「平成27年9月関東・東北豪雨」による大雨の災害復旧に関する補正で、20億3,280万9千円を増額し、予算総額を359億1,014万9千円としました。

★主な事業内容

- ・ 災害見舞金支給事業 200万円
- ・ 農地災害復旧支援事業 7,000万円
- ・ 宅地関連災害復旧事業 3億7,022万5千円
- ・ 農林業施設災害復旧事業 7億5,970万2千円
- ・ 道路橋梁災害復旧事業 7億6,746万4千円



梁川町山舟生字大小地内



霊山町石田字小市郎地内

平成26年度

一般会計・特別会計の決算は、すべて認定しました!!

■平成26年度決算の基金と市債

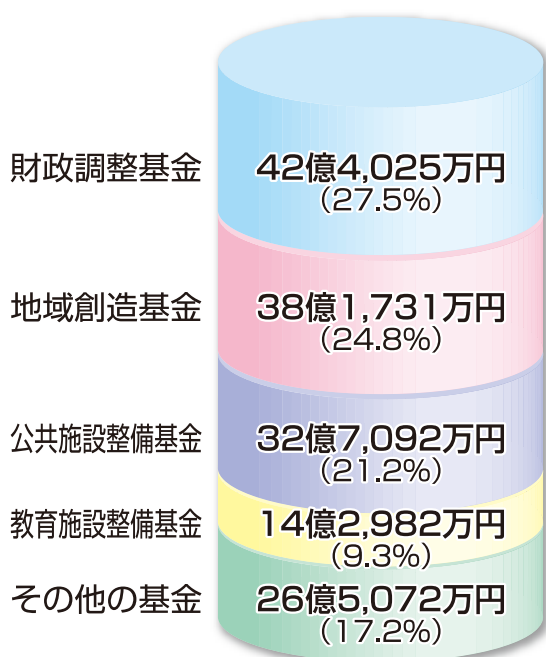
平成26年度決算の概要については、市政だよりでお知らせしていますので、議会だよりでは、平成26年度末時点での基金（貯金）残高と市債（借金）残高についてお知らせします。

26年度末	基金残高（貯金）
一般会計	150億2,664万円
特別会計	3億8,238万円
合 計	154億 902万円

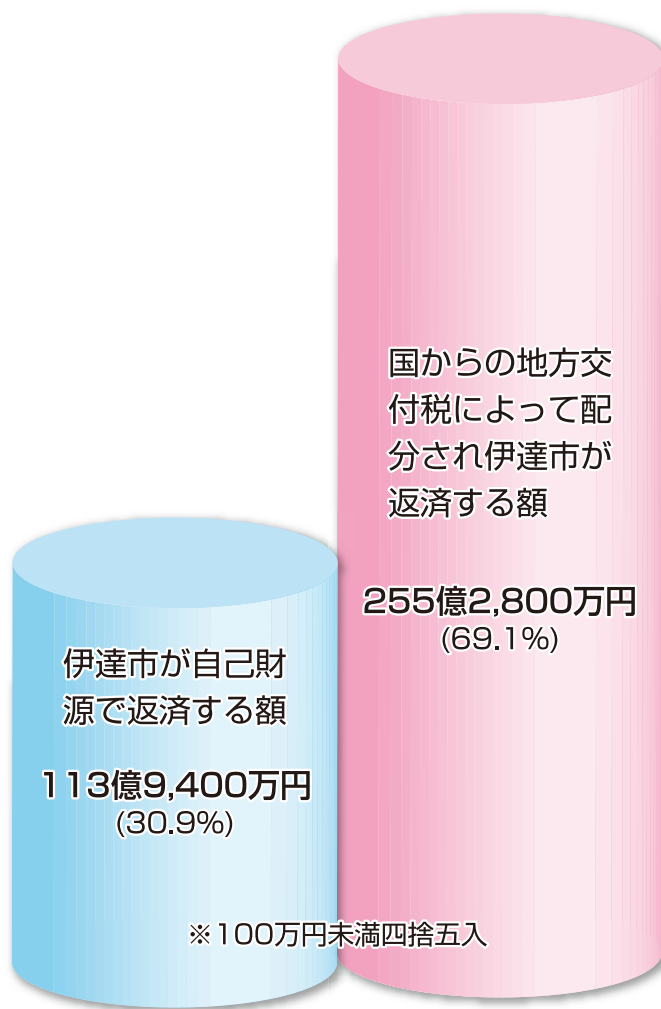
26年度末	市債残高（借金）
一般会計	369億2,236万円
特別会計	78億 610万円
水道事業	63億8,786万円
合 計	511億1,632万円

【一般会計の基金と市債の比較】

一般会計の返済



基金（貯金）残高
154億902万円



※100万円未満四捨五入

一般会計市債（借金）残高
369億2,236万円

9月定例会

一般質問では11人の議員が登壇し、市政全般について論戦を展開しました。

問Q一般質問A答

一般質問議員と質問項目

■9月8日登壇

■菊地 邦夫 議員

1.伊達市の教育

■八巻 善一 議員

1.公職選挙法改正（18歳以上に引き下げ）による対策

2.伊達市合併10周年記念事業の進捗、方策

■小野 誠滋 議員

1.戦没者追悼式典

2.鳥獣害対策

■丹治千代子 議員

1.働く女性応援事業

2.産前産後子育てヘルパー派遣事業

3.土曜授業

4.学校におけるいじめ問題

5.部活動

■中村 正明 議員

1.伊達市合併10周年記念事業の果たす意義

2.学校、教育

3.住民目線の支援

■9月9日登壇

■佐々木 彰 議員

1.人口減少社会に対応する、施設運営

2.今後の水道事業

3.水環境の保全

■佐藤 実 議員

1.公園の整備・充実

2.「地域の足」公共交通への取り組み

■菅野 喜明 議員

1.高子駅北地区の住宅団地、工業団地、そして堂ノ内地区の商業施設の3つの開発との関連性

2.土砂災害区域及び土砂災害特別警戒区域の指定

3.ふるさと納税

4.伊達市の復興をめぐる諸問題

5.地域自治組織

■近藤 真一 議員

1.障がい者支援

2.公職選挙法の改正等

■佐藤 清寿 議員

1.放射能に関わる諸問題

2.「赤道、青道」

3.各種要望書の取り扱い

■9月10日登壇

■高橋 一由 議員

1.Cエリア全面除染とA、Bエリア再除染

2.側溝除染未施工問題の検証と問題が生じた場合の今後の対応のあり方等

3.市の事業と市長の政治姿勢等々

■伊達市の教育について



菊地 邦夫 議員

Q

今年実施された全国学力・学習状況調査の結果が公表され、福島県は9科目平均以下との厳しい結果となりました。伊達市の結果はどうだったのか、前年度までの課題や問題点は改善

されてきたのか。小中学校の学力推進事業の成果についても伺います。

A

全国学力・学習状況調査の結果は、小学校で国語A、国語B、算数A、算数B、理科の5教科中、国語Aでは全国平均をやや上回っており、国語Bと理科はほぼ全国平均、算数A、Bでは全国平均を下回っていました。

中学校では国語A、国語B、数学A、数学B、理科の5教科全てで全国平均を下回っています。

学力向上の推進事業については、6つの中学校区毎に小中学校

が連携をして、学力向上へ向けた授業研究等を柱として取り組んでいます。また、先進地視察や数学担当者授業研究会、市独自に学力検査を実施して課題の把握と改善に取り組んできたところです。

学力向上推進会議の内容としては、学力向上へ向けた研修及び授業研究会の開催、家庭との連携、学習の手引きの作成、家庭生活の見直しの啓発、ノーゲームデーの推進等を行っています。また、学力向上授業研究会の開催、教職員の論文、研究物展の開催等も行っています。成果については、十分出ているところと差が縮まってい

9月定例会

平成27年第4回定例会で可決・認定された議案について2、3ページで掲載したものを除いて説明します。

■条例

●伊達市個人情報保護条例の一部を改正する条例

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」（以下、「番号法」）の規定による特定個人情報の保護措置の趣旨を踏まえ、市が保有する特定個人情報に必要な措置を講じるため、所要の改正を行いました。

■合併10周年記念事業の方策は



八巻 善一 議員

との協議、庁内で記念事業計画を調整、市と市内各種団体、地域の代表者の皆様に実行委員会を構成、設置したい。10月上旬の実行委員会立ち上げに向け事務を進めています。

Q 市民提案事業、市民共同事業について伺います。

A 記念事業の全体計画の分け方として①記念事業②実行委員会を行う事業③10周年の節目を記念した市が行う事業④冠事業という構成で全体計画を考えています。

Q 伊達市の歌制定について伺います。

A 伊達市の歌制定について伺います。

A 本市においては平成26年度に公募型共同モデル事業で伊達市市民の歌、伊達市歌制定推進事業として伊達市歌制定提案書を受けている。本市の音楽団体が加入している楽友協会、伊達市コーラスの仲間たちの提案を受けながら進めていきます。

Q 新オラトリオ作成の意義について伺います。

A 昭和61年8・5水害の教訓から町の歴史、川との共生をテーマに旧梁川町が平成3年に創作し、ふるさとの夏祭り「水のほほえみ」として上演されてきた。新しいオラトリオは、合併10周年を記念して伊達市のさらなる融和を図り発展に資する演目にしていきます。

Q 伊達市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

放課後児童クラブを実施する施設の変更等に伴い、所要の改正を行いました。

●伊達市介護給付費準備基金条例の一部を改正する条例

第5期介護保険事業計画期間における福島県財政安定化基金特例交付金の精算が終了したことに伴い、当該規定を削除するため、所要の改正を行いました。

●伊達市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

放課後児童クラブを実施する施設の変更等に伴い、所要の改正を行いました。

■補正予算

●平成27年度伊達市一般会計補正予算(第2号)

16億5550万2千円を増額し、予算総額を33億7734万円としました。

歳入の主なものは、震災復興特別交付税5億705万6千円、福島定住等緊急支援交付金等の国庫支出金4億9186万3千円、寄附金243万2千円、前年度決算剰余金の繰越金15億5604万6千円などを増額し、農業振興支援事業補助金等の県支出金4億1802万7千円、財政調整基金等の繰入金5億2926万8千円を減額しました。

歳出の主なものは、2ページをご覧ください。

その他の事業として、あんば柿等の物産展を首都圏で開催する風評被害対策事業550万円、子育て支援

■戦没者追悼式典について



小野 誠滋 議員

A 伊達市の戦没者追悼式につきましては、さきの大戦におきまして戦火によって犠牲となられた方々を追悼して平和を祈念するために、戦後70年の節目の年であります本年10月30日に、伊達市として戦没者の追悼式を開催する予定であります。

Q 会場につきましては、伊達市のふるさと会館で開催する予定であり、参加案内につきましては、伊達市の各支部の遺族会会員が986名おり、これらの遺族会を通じてご案内をしていきたいと考

Q 戦後70年の節目にあたり、市主催の追悼式典が執り行われますこと大変意義ある取組だと思えます。今回の式典にあたり、どのような方法で行うのか詳細について伺います。

■来年度から「土曜授業」始まる！



丹治千代子 議員

Q 来年度から「土曜授業」が年3回程度実施される予定だと聞きました。現在行われている土曜学習から、「土曜授業」に方針転換した経過について伺います。

A 土曜学習をやめて「土曜授業」に完全に移行するものではありません。「土曜授業」は授業であつて、土曜学習は引き続き行おうと考えております。

Q 「土曜授業」を実施する場合、現場の教職員や保護者、子ども達の声をどのように反映させるのか、また、「土曜授業」を今年度から実施している福島市においては、問題点や課題についていろいろ出されているようです。

伊達市でも「土曜授業」を実施

する場合、教職員の週休日の変更など、問題が必ず出てくると思います。それらについても、現場の教職員と良く話し合つて、スムーズに「土曜授業」が行われるように考えますが伺います。

A 校長会役員会・校長会にて説明しております。また、伊達市PTA連絡協議会・教職員組合等への説明、さらに保護者へも文書で説明しながらご理解、ご協力をいただけるように進めてまいります。

■住民目線の支援



中村 正明 議員

Q 先日、放射線影響研究所理事長に就任された丹羽太貫氏の記事が新聞に載っておりまして。丹羽氏は東電福島第一原発事故後、東京で放射線防護に関わり、希望して福島医大に赴任なさ

れました。「移り住んでみて、放射線への恐怖や不安が家族関係まで壊すような社会的な問題には、『科学は何の役にも立たない』と悟られ、上から目線ではなく、住民が納得できるような支援を意識し、福島や広島の人と心を共にし、何ができるかを考えていきたい」と述べておられました。本市においても丹羽氏のような視点が大切なのではないでしょうか。市長の考えを伺います。

A 安全イコール安心になつていないところが問題です。本市は国が目標にしている年間1ミリシーベルト以下ですから

心配ないと思いますが、努力していきます。

Q 地区住民、各種団体の方々から面的除染の要望書が市、および議会へ次々と提出されております。市長選のマニフェストにもCエリア除染は明記されており、ツイッター、ビラ等にも、一番大きな赤い字で書かれてあり、まさに公約であります。考えを伺います。

A 総合的に判断すれば全面除染は現実的ではないし、やる必要はないし、やらないほうがいいと判断しております。

情報の提供と、子育てに関する悩み相談ができる子育て支援ウェブサイトを開設事業100万円、決算剰余による基金積立費7億2222万2千円などを増額しました。

また、繰越明許費は、保原屋内プールを改築することも体力低下対策事業について設定しました。

●平成27年度伊達市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

各交付金及び各拠出金の額の確定による増減、決算により確定した繰越金等の増額により、1752万8千円を増額し、予算総額を85億3982万8千円としました。

●平成27年度伊達市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

滞納繰越分保険料及び繰越金の確定により、後期高齢者医療広域連合納付金等を163万7千円増額し、予算総額を6億8028万3千円としました。

●平成27年度伊達市介護保険特別会計補正予算(第2号)

前年度の介護給付費等の確定により、償還金等の増額及び介護給付費準備基金積立金の減額のため1316万円を増額し、予算総額を65億1899万9千円としました。

●平成27年度伊達市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

前年度決算剰余金の確定により、繰越金の増額及び一般会計繰入金金の減額のため1007万1千円を増額し、予算総額を10億7509万6千円としました。

●平成27年度伊達市栗野地区農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)

前年度決算剰余金の確定により、繰越金287万5千円を増額し、予算総額を1756万1千円としました。

■人口減少社会での施設運営



佐々木 彰 議員

たな事業に取り組む施設がありません。伊達市として、これからどのような基準をもって改築・改修などの事業に取り組んでいくのか、また施設管理を行う上での財政負担の軽減化に向けた考え方などについて伺います。

Q 人口減少が進行し、伊達市で所有している施設について利用頻度が低くなる施設が増えることが予測されます。このようなか、本庁舎の増築や伊達小学校の改築などを代表するように新

A 施設の改築・改修の事業化の基準としては、耐震性、老朽化の度合い、設備の状況、施設の用途に適合した収容人数の確保、整備基準等に合った部屋が確保されていること、新しい機能追加の必要がないかということを総

合的に判断して改修に耐えるものであるか、さらには改築が必要であるかというようなことを判断の基準として考えています。

施設管理については、ファシリティマネジメント推進事業の中で、公共施設総合管理計画策定の作業を進めております。そのほかに公共施設配置適正化計画を来年度までに策定する予定です。この計画の策定の過程では、市民の意見の反映を図りながら、公共施設が多機能化や統合などを含めた配置の適正化、施設の有効活用について具体的な取り組みを検討し、計画に反映する考えです。

■具体的な整備計画を問う



佐藤 実 議員

をする予定です。

施設の整備をはじめとする具体的な整備内容は喫緊の課題である駐車場の整備として、常設540台程度を確保、イベント時には広場等を開放して、千台の駐車車を可能とする計画です。また、屋外トイレの整備に加え、通学合宿を基本とした合宿所も考えており、運動公園利用者が利用できるクラブハウスの機能、宿泊等についても十分に勘案しながら、検討してまいりたいと考えています。

Q 保原総合公園の整備計画と今後のスケジュールを伺います。

A 今年度内に用地買収、28年度から造成工事に着手、29年度から31年度まで、公園整備

市民の足としての公共交通

Q 自ら移動手段を持たない交通弱者対策はもとより、地域社会の活力の維持・向上を図る意味からも、公共交通の安定的な運営に向けた取り組みの強化が必要と考えるがどう築くのか伺います。

A 中山間地域をはじめとして公共交通が行き届いていないところもあります。今後はデマンド交通、バス事業者との協議をしながら、地域ニーズに合った公共交通のあり方、交通体系づくり探っていきたいと考えます。

●平成27年度伊達市月舘宅地造成事業特別会計補正予算（第1号）

前年度決算剰余金の確定により、繰越金207万9千円を増額し、予算総額を2790万7千円としました。

●各財産区特別会計補正予算

梁川・白根・富野・五十沢・富成・柱沢・上保原・金原田・掛田・大字掛田・大石の各財産区特別会計は

前年度越金の確定により、繰越金などを補正しました。

●平成27年度伊達市水道事業会計補正予算（第1号）

収益的収支においては、収入を東京電力損害賠償金により2678万6千円増額し、補正後の額を18億5293万9千円としました。支出を人事異動による人件費により544万1千円増額し、補正後の額を17億9774万2千円としました。資本的収支においては、支出を人事異動に伴う人件費により486万円減額し、補正後の額を13億220万3千円としました。億1812万5千円としました。

■決算

平成26年度一般会計歳入歳出決算ほか21件について、監査委員の意見を添えて、議会の認定に付され、いずれの会計も認定するものと決しました。

※決算の概要については、「市政だより11月号」をご覧ください。

●平成26年度伊達市水道事業会計決算認定及び剰余金処分について

平成26年度公営企業会計の決算の認定について、監査委員の意見を添えて、議会の認定に付され、認定するものと決しました。

また、平成26年度未処分利益剰余金の処分についても、認定するものと決しました。

■堂ノ内地区の開発をオール県北で！



菅野 喜明 議員

要です。福島市、桑折町、国見町に声かけをして、オール県北として県に働きかけができないのか伺います。

Q 高子駅北口の住宅団地が面積約13・7ha、分譲予定が350から400区画と伺いました。また、工業団地も予定されています。これらを成功に導くためにも堂ノ内地区の開発が大変重

A 我々だけでは進められないので、近隣市町と一緒に行動を考えております。伊達市も伊達町村会にオブザーバー参加しており、話を進めています。また、福島市も市長が代ってから話をしてほしいと伺っており、近日中に2市3町で話し合いを持つことになっています。また、先日内堀知事が伊達市に來られて、1時間ほど懇談しました。その際に市

の概況と要望、堂ノ内地区のこともし上げました。

来年度地域自治組織の運営費は？

Q 今年度支給されている地域自治組織（交流館）の運営費は、今年限りで、28年度は変わるという議論がありました。それについて伺います。

A 1年間試行をしてみるということで始めましたが、やはり交流館に人がいれば、活動が進むため、一定の成果が上がったと思います。予算編成は12月頃なので、それまでに結論を出します。

■障がい者支援について



近藤 眞一 議員

Q 昨年9月定例会で、特別支援学校の設立について「分校設置の陳情を行い、機会あるごとに要望を続けていく」との答弁だったが、それらの進捗等について伺います。

A 陳情については、昨年引き続き今年度も県市町村教育委員会連絡協議会として陳情を行いました。県の方針は県中地区と相双に分校設置であり、県北地区は特に触れられておりません。しかし、優先順位を考慮しながら特別支援教育の充実を推進するとされておりますので、今後とも要望を継続してまいりたいと考えております。

Q 学校統廃合などによる市の遊休施設の活用として、特別支援学校も考慮に入れてみてはいかがか伺います。

A 県がやるのか市がやるのか、はつきりしていません。大笹生学園は常に満員で、伊達市の子どもの通学に支障をきたしているのも承知しています。県がやれないということであれば、市独自でやるしかないかと判断しているところであり、県にも意見として申し述べております。しかし、県がやることになっているのに市でやるというわけにもいきません。特別な支援を必要とする子どもは増える傾向でありますから、県に対応を要望しています。

■その他

●伊達市道路線の廃止について

八重穂内1号線の市道路線廃止申請に伴い、廃止することになりました。

■追加議案

【条例制定】

●市長及び副市長の給与の特例に関する条例の制定

市長及び副市長の平成27年10月分の給料月額を、1割減じた額とする条例を制定しました。

【補正予算】

●平成27年度伊達市一般会計補正予算（第3号）

平成27年9月関東・東北豪雨による大雨の災害復旧に関する補正で、20億3280万9千円を増額し、予算総額を359億1014万9千円としました。

歳入については、農地補助災害復旧に係る受益者の分担金1750万円、災害復旧に係る国庫支出金3億9746万円、県支出金3807万円、農林水産業施設災害復旧債等の市債3億2100万円、財政調整基金繰入金12億5877万9千円を増額しました。歳出の主なものは、2ページをご覧ください。

その他の事業として、文教施設災害復旧事業1060万円、その他公共施設・公用施設災害復旧事業1132万7千円などを増額しました。

●平成27年度伊達市水道事業会計補正予算（第2号）

平成27年9月関東・東北豪雨による水道設備等の災害復旧に関する補正で、収益的収支において400万円を増額し、予算総額を18億174万2千円としました。

●損害賠償の額の決定及び和解

道路管理に起因する事故による損害賠償の額を決定

■放射能にかかわる諸問題について



佐藤 清壽 議員

原発の再稼働に意見を言うことは当然だと思うが、市長の考えを伺います。

A 原発の再稼働については非常に関心を持っており、原発の恐ろしさは承知しているが、電力、環境問題等を考えたときに公式見解を述べることはできません。

Q 今年の夏は梁川地区が全国2位の暑さを記録し、全国的に記録的な暑さにも関わらず原発電力がなくても過ごせた夏でした。
原発事故で苦難を強いられている本市の最高責任者として、川内

Q 伊達市除染実施計画には、将来的に年間追加被ばく線量を年間積算1ミリシーベルト、空間線量率0.23マイクロシーベルト以下とする、とあるがこの事に間違いはないか伺います。

A 現時点で変える予定はありません。法の改定があれば、それに従います。

Q 宅地から20mの林縁部の除染の未実施地区について市長は雑誌のインタビューの中で「施工の足場の悪さなどもあったのですが、これについても我々は取り組みます。」と述べています。Aエリアの宅地周辺20mの林縁部の未実施除染の除染実施の考えを伺います。

A 指針に基づき取り組みんでいます。ただ、急傾斜地であるとか、大雨で崩れる状況があり、所有者との話の中でやらない部分もあります。

■低線量15・9ミリで、白血病に



高橋 一由 議員

ミリシーベルトで531人が白血病で死亡したことを発表し、これが去る7月3日報道されました。この件について伺います。

A 報道は承知しておりますが、詳細は承知していません。

Q フランスのがん研究機関は欧米の原発や核燃料施設等で1年以上働いた、およそ30万人を対象に健康状態と被ばく線量との関係を過去60年さかのぼった分析の結果、積算線量平均15・9

Q 伊達市の原発事故当初の、高い線量は公表されていないが、当時の被ばく量と現在公表している年平均0・86ミリシーベルトを考えると白血病のリスクはきわめて高く、一定の線量を超えないと健康に影響は出ないという

今までの考え方は見直しが求められます。A・Bエリアの再除染Cエリアの全面除染をして、市民を白血病から守るべきと考えますが、考えを伺います。

A 除染がすべてとは考えていませんが、国県指導の下、年間1ミリシーベルトを目指しています。しかし、心配はよくわかるので専門家の意見も仰ぎながら勉強していきたいと考えます。

し、和解することについて可決しました。

●議員辞職の許可、議会人事等

9月1日、佐藤直毅議員の辞職願を許可しました。

●佐藤直毅議員辞職に伴う議会人事等

伊達市地方衛生処理組合議会議員 滝澤 福吉

議員定数等議会改革特別委員 大條 一郎

同 副委員長 近藤 眞一

伊達市第2次総合計画に関する調査特別委員 大和田 俊一郎

●大條一郎議会運営委員辞任に伴う選任

議会運営委員 丹治 千代子

7月臨時会

平成27年第3回伊達市議会臨時会は、平成27年7月28日に招集されました。市長から提案された案件は、専決処分報告1件、その他2件の計3件でした。これらの案件は一部を除き、所管の委員会に付託して審査の後、本会議で採決した結果、原案のとおり可決しました。

その他

●財産の取得について

梁川認定こども園に設置する備品等を取得すること可決しました。

●損害賠償の額の決定及び和解

市有施設の安全管理に起因する事故による損害賠償の額を決定し、和解することについて可決しました。

■議会広報特別委員会の報告を承認

「議会広報特別委員会」が調査・検討を行なった結果を最終日9月29日、本会議で大條一郎特別委員会委員長が報告・承認されました。

平成26年6月定例会において6人の委員で構成する「議会広報特別委員会」を設置し、広報機能の調査研究について、先進的な取り組みをしている議会の視察を実施するとともに、その事例の調査を進め、各委員による活発な議論を重ねてきた。

①議会だよりのタイトル（愛称）については、市民と保原高校美術部の生徒の皆様、さらに各議員も参加して決定した新愛称「ほっとだて」については、平成28年度の議会だよりから採用の予定。②表紙の写真については、議論を重ねた結果、基本的に現在と同様に各委員が撮影することに決定。③一般質問のレイアウトは、紙面の拡充について、案は決定済みであるが予算の増額が必要で、議長に要望をしてきた。また、議会の理解も必要であり今後の課題とした。④市民参加のページについては、議会だよりNo.39号から「タテ目・ヨコ目・タテ目」として掲載されている。⑤市議会ホームページについては、愛称の募集で活用したが、今後有効的な活用の在り方が

課題となる。

また、広報機能と広聴機能は密接な関係であり、議会として市民の負託に応えるため、前委員会の結論とした広報広聴機能を持つ委員会の役割は重要であり、常任委員会への移行について検討が必要であるとの意見で、全委員が一致したことを再確認した。



安藤喜昭議長に報告書を提出する大條一郎委員長（中央）と菅野喜明副委員長（右）

■国への要望活動

福島市・米沢市・相馬市・伊達市で構成される議会連絡協議会は、去る10月1日に国土交通省福島河川国道事務所、磐城国道事務所、5日に国土交通省東北地方整

みなさんからの請願・陳情

9月定例会で受理したのは、請願3件、陳情5件の計8件でした。所管の委員会に付託して審査し、委員長が本会議に審査結果を報告、採決の結果、次のとおり決まりました。なお、継続審査となっていた陳情1件についても今回決まりました。

採決の結果	請 願 件 名	請 願 者
不 採 択 (総務生活常任委員会)	「戦争法」制定に反対する意見書の提出を求める請願書	〒960-0622 伊達市保原町字市柳町 社会民主党伊達総支部 代表 清野 辰夫
不 採 択 (産業建設常任委員会)	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	〒960-0622 伊達市保原町字市柳町 社会民主党伊達総支部 代表 清野 辰夫
趣 旨 採 択 (総務生活常任委員会)	「原発再稼働の中止を求める意見書」の提出を求める請願書	〒960-0622 伊達市保原町字市柳町 社会民主党伊達総支部 代表 清野 辰夫
採決の結果	陳 情 件 名	陳 情 者
6月定例会 継続審査 採 択 (産業建設常任委員会)	健幸都市のため茶臼山の環境整備を求める陳情書	〒960-0801 伊達市霊山町掛田字日向 代表 齋藤 直之 外4名
継 続 審 査 (総務生活常任委員会)	Cエリアの高濃度放射性汚染物質の除染を含む面的除染を年度内に計画し実施することに関する陳情書	〒960-8112 福島市花園町 NPO法人ふくしまGreen space 理事長 杉浦 美穂
採 択 (産業建設常任委員会)	市道33205号線の道路改良に関する陳情書	〒960-0681 伊達市保原町所沢字大黒内 紅屋峠千本桜の会 会長 菅野 信治
採 択 (産業建設常任委員会)	保原町富成第11区市道、字小林～字八ヶ森線（34266号線）下の排水路改良整備を求める陳情書	〒960-0682 伊達市保原町富沢字石名坂 保原町富成第11区町内会 会長 菅野 靖大
採 択 (産業建設常任委員会)	市道32093号線32091号線道路改良、舗装工事に関する陳情書	〒960-0634 伊達市保原町大泉字平地内 代表 前屋敷行政区推進員 菅野忠司 外6名
採 択 (産業建設常任委員会)	保原町大館第2行政区市道2097号線現道整備全面舗装に関する陳情書	〒960-0634 伊達市保原町大泉字大館 大館第2行政区 代表 大館第三町内会 会長 一條 孝之 〒960-0634 伊達市保原町大泉字大館 大館第二町内会 会長 鈴木 勝文

備局、13日に国土交通省、復興庁、自由民主党、国会議員へ要望活動を行いました。

要望内容は、南東北地域の発展と震災及び原子力災害からの早期復興のため、東北中央自動車道(相馬～伊達～福島～米沢間)の整備促進を図り早期完成を求めるものです。



金子恵美衆議院議員に要望書を手渡す安藤喜昭議長(中央)と大橋良一副議長(左)

■企業団への

要望活動

平成27年8月6日、安藤喜昭議長、大橋良一副議長及び産業建設常任委員会委員が福島地方水道用水供給企業団を訪問し、水道料金の統一等についての要望書を手渡しました。

要望書では、次期事業計画作成

に着手されることに鑑み、昭和63年に交わされた協定書に従い「統一料金とする。」の文言を計画書に明記し、次期計画から統一料金にて運営を図ること。また、水道法第1条に定められている「低廉で豊富」な水道水の確保について、次期計画書に明記し、常に経費の削減に努めるとともに、構成市町の住みよい「まちづくり」に寄与すべく、料金の低廉化も企業団経営の目標として明確に位置づけること。さらに、留保資金が約75億円と当初計画のおよそ2倍近くとなっていることに鑑み、適切な留保資金の確保に向け、料金の引き下げ等を含め、次期計画の中で適切な措置を講ずることについて明記し、実現にむけての努力をお願いしました。



企業団事務局長に要望書を手渡す安藤喜昭議長(右)

請願・陳情について

住民が地方公共団体や地方議会などに対し、要望や意見を述べることを請願といい、憲法第16条の基本人権や地方自治法第124条により請願権が認められています。

議員の紹介のあるものは請願書、ないものは陳情書として提出できます。

請願の取り扱い

議会に提出された請願は、内容により所管する常任委員会で審査され、本会議において採択・不採択を決定します。

審査結果は、提出者(複数の場合は代表者)あてに通知します。

請願書の出し方

請願書は、邦文により、文書で市議会議長あてに提出してください。記載していただく事項は次のとおりです。

1. 提出年月日
2. 請願書の住所
3. 請願者の団体名(※個人の場合は必要はありません)
4. 請願者の職・氏名(※押印が必要です)
5. 連絡先(※日中連絡が取れる電話番号と担当者名)
6. 紹介議員の署名または記入押印(※請願書の場合のみ)
7. 件名
8. 請願の趣旨

※土木事業関係などの請願(陳情)の際は、略図を添

付してください。

平成 年 月 日
伊達市議会 議長 <議長名> ○○○○ 様
住 所 (団体または個人の住所) 団体名 (名称 ※個人の場合は不要) 氏 名 (代表者の職・氏名または個人氏名) @ 連絡先 (日中連絡の取れる電話番号・担当者名)
紹介議員 (1人以上、署名または記名押印)
< 件 名 > ○○○○○○○○に関する請願書 (請願の趣旨)を求め、請願いたします。

(注意)

請願は原則として3、6、9、12月の年4回開催される市議会定例会で審査されますが、各定例会に上程する受付締切(議員の申合せにより議会開会前に開かれる会派代表者会議の前日正午)がありますので、詳しくは議会事務局(電話024-575-1217)にお問

い合わせください。

受付締切後に提出された請願は、次回の定例会で審査されます。

なお、受付は、平日の執務時間中に伊達市役所3階の議会事務局で常時行っています。

陳情の取り扱い

陳情の取り扱いは原則として請願に準じますが、本会議に上程するかは議会運営委員会で決定します。

陳情書の書き方および提出方法は、請願書と同様ですが、紹介議員は必要ありません。

独眼流



大好きな伊達市に住んで

伊達市保原町 長沼なをみ（64歳）

私には忘れられない風景があります。三十八年前、主人の仕事の関係で保原町へ越してきました。春でしたが、吾妻小富士には残雪があり、畑には桃の花が一面に咲き、その足元には黄色の菜の花が広がり絵を描きたくなるような景色に心をうばわれました。県外に出ている息子たちも保原に帰って来るとホッとするよと言います。孫たちも枝にたわねに実った桃を見て歓声をあげます。住んでいる者にとっては毎年やってくる景色かもしれません、それでも私は感動させられています。

しかし、最近桃やリンゴの木も少なくなってきた様に思います。伊達市の素晴らしい宝として、これからも見続けていける事を願っています。

また、最近の事で感謝している事があります。震災後、いち早く屋内の遊び場

を確保して頂いた事です。

当時は小さい子供たちの姿を見る事がなくなり、暑くても長袖の服を着ている小学生を見ると胸がしめつけられました。

今ではベビーカーで散歩しているお母さんや、お父さんと手をつないで歩いている男の子が、マンホールに描かれている絵に興味を持ち、しゃがみこんで触っている姿を見ると心があたたくなります。その反面、ちよつと腰をおろして花を見たり落葉を拾って遊ぶ所が少なく感じます。大きな公園でなくていいのです。親子連れや年配の方が散歩に出て、少し休んだら帰れる位の距離に休憩できる場所があったらと思います。

私は京都府出身ですが、伊達が大好きです。みんなが幸せを感じ、誇りに思えるような伊達市に発展するよう期待しています。

9月定例会賛否一覽表

※これ以外の案件等は全会一致で可決されています。

議案等		賛成○、反対●		議員名	
議案第143号	市長及び副市長の給与の特例に関する条例の制定について	○	○	大條 一郎	○
請願第8号	「戦争法」制定に反対する意見書の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
請願第9号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第144号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第145号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第146号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第147号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第148号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第149号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第150号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第151号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第152号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第153号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第154号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第155号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第156号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第157号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第158号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第159号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第160号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第161号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第162号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第163号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第164号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第165号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第166号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第167号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第168号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第169号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第170号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第171号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第172号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第173号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第174号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第175号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第176号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第177号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第178号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第179号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第180号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第181号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第182号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第183号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第184号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第185号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第186号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第187号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第188号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第189号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第190号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第191号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第192号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第193号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第194号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第195号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第196号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第197号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第198号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第199号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●
議案第200号	「労働基準法改正案の撤回を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	菅野 喜明	●

※議長（安藤喜昭）は採決に加わらない
※会派名の省略 共産↓日本共産党伊達市議団

12月定例議会の予定

○11月26日(木)午前10時に招集される予定です。伊達市議場（伊達市役所保原本庁 議会棟3階）
※なお、詳しい審議日程は、議会運営委員会で決まります。【電話 024-575-1217】

編集後記

9月9日から11日の関東・東北豪雨により、被災された市民の皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。9月定例議会で、議会最終日に追加補正予算として災害復旧費15億8千7百万円を含む20億3千2百万円を可決迅速な復旧を求めました。このような豪雨災害は地球温暖化の影響もあり、今後どこでも起こる可能性があります。市民の皆様とともに、防災意識の向上に努めてまいりたいと思います。

（大）

議会広報委員会

委員長	大條 一郎
委員長	菅野 喜明
委員	中村 正明
委員	佐藤 実彰
委員	佐々木 彰